

失敗を練習する場



教育随想

岡崎市教育委員会 委員
上原三十三 氏

スポーツの運動指導に携わっていて、最近、失敗することに強い抵抗感をもつ子が増えてきたように感じます。確かに、人前で失敗する姿を晒すのは気持ちのよいことではありません。できるのであれば格好良く見せたいものです。

先日、長なわとび運動でなわの回し手だけをずっとしている子がいました。自分が引つかかると、連続とび記録や場の空気を乱してしまうと遠慮していたのです。連続とびが続いて自分の番が近づいてくると緊張します。引つかからないようにと強く思えば思うほど身体が硬くなつて動きが悪くなるから、失敗し易くなります。

動きのコツをつかむには、二つのアプローチがあります。一つは、「ジャストミート」したときの爽快

感のあるよい動き方を探求します。もう一つは、「失敗しない」ための動き方を探します。後者の実施感覚に爽快感はないでしょう。一般に動きのコツといえは、「こんな感じでやれば成功する」という動きの感覚を考えます。ですが、「ここ一番で」失敗しない人は「こんな感じでやれば失敗はしない」というものを身に付けているそうです。

失敗しないためには、成功と失敗の境を知らなければなりません。それを分かるための練習では、「失敗の練習をする」のだそうです。どこまで「コツ感覚」が外れてしまうと成功させられなくなるのかを様々な動きの仕方について試します。いろいろな状況を想定して、さらには想定外のときに出現する挙動も含めて風潰ししらみにしていきたいと思います。



空気を読み過ぎると「失敗の練習」ができなくなります。夢中になっていろいろな失敗の感覚を身体で探ることを許容する場も、大切にしていきたいと思います。

(うえはら さとみ)



平成 31 年 4 月 1 日

4 月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
岡崎市教育委員会 委員
上原三十三 氏
- この人に聞く…………… 2
日本テレビアナウンサー
青木 源太 氏
- 羅 針 盤 …………… 2
東海中学校長 中村 公治
- ふれあい…………… 3
岩津中学校 内田香保里
- 特 集…………… 4
平成 31 年度 岡崎の教育
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
北野小を守る会・
北野学区見守り隊
(平成 17 年)
- この本を…………… 8



「伝える」ひとへの思い

日本テレビアナウンサー

青木 源太 氏

「岡崎は、すごいのです。歴史ある街です。天下を取った家康が生まれたところですよ。東京へ出てから強く感じたのですが、東京だって家康が作った江戸幕府が発展させたのですから。岡崎には、広い世界へ出て活躍せよと、背中を押してもらっているような気がしています。」

同郷の出演者と、故郷の話に花が咲くことも多いそうである。岡崎への愛着や思いの強さを感じる。

井田小学校、葵中学校、そして岡崎高校と、青春時代を岡崎で過ごした。時間さえあればテレビにかじりつくように見ていた、根っからの「テレビっ子」だったという。

『金田一少年の事件簿』とか、毎週楽しみにしていました。視聴者を夢中にさせる、大好きなテレビを見るうちに、それを伝える側である、『テレビの向こう側』に行きたいと、夢を抱

くようになりました。」

三十五歳の現在、東京で複数の番組を担当し、アナウンサーとして絶大な人気を誇る。

「自分が感動したことを、他の誰かに伝えて、その人が感動してくれたときに、伝えるという仕事のやりがいを感じます。相手が分かってくれた、伝わったという感覚があると、とてもうれしいです。」

しかし、華やかに見える活躍の裏には、視聴者には見えない努力がある。

「自分が理解できていることでないと、話しても伝わりません。伝えたい内容の本質を、自分自身がとらえておく必要があります。そのためには、世の中で起きている出来事や話題になっっていることに対して、常にアンテナを高くしておくことが大事です。独りよがりの知識ではなく、幅広く物事を知っておく。それが、伝える側の責任だと考えます。」

アナウンサーの仕事は多岐にわたる、スポーツの実況やドラマ、バラエティ番組にも出演する。

「収録の本番のために、百の準備をしても、十か二十しか使えないのです。でも、準備してきた情報を伝えることができて、視聴者やスポンサー、出演者が喜んでくれたとき、苦労の二倍うれしさを感じます。」

十二年間にわたって中継業務に携わった箱根駅伝にも、伝えることへの思いの強さがうかがえる。

「選手には、頑張る理由を必ず聞きます。駅伝のために、一年の三六〇日以上を費やしている彼らが、なぜきつい練習に耐えられるのかと。自分の将来のために走る人もいれば、家族のために走る人もいるし、故郷のた



めに走る人もいます。そんな頑張る理由を理解して、伝えることを大事にしています。また、選手の出身地や名前をフルネームで呼ぶことにもこだわりました。それを実況で伝えると、選手と故郷の人々をつなぐことができます。私にとっては、岡崎出身の選手の名前を呼ぶときが、特にうれしい瞬間でした。」

メディア業界について、インターネットを通じた番組の勢が増していることを強く感じるそうだ。

「地上波のテレビをしのぐ勢いに、危機感を抱くこともあります。でも、アナウンサーとして与えられた仕事の中で、質問内容や表現方法を磨くことで、出演者の魅力やニュースの真意がちゃんと伝わる伝え方を追求すべきだと考えます。それができなければ、次はないと思っています。」

視聴率を報じる張り紙が無数に貼られたテレビ局の廊下を颯爽と歩きながら、伝えることへの思いを語る目は、力強く前を見据えていた。

氏名 あおき げんた
生年月日 昭和五十八年五月
住所 東京都



主体的な取り組み

東海中学校長

中村 公治

新学習指導要領の趣旨を教育活動に反映させるべく、どの学校も苦心しているのではないだろうか。

本校では、三年前から信州大学の三崎隆先生にご助言いただきながら、『学び合い』の考え方に基づく授業づくりに取り組んでいます。

『学び合い』の授業では、生徒同士が互いに教えたり教えられたりすることによって、全員が分かる授業を目指します。基本的に、教師は教えません。教師の主な役割は、始めに課題（目標）を明示し、最後に全員が達成できたかどうかの評価を行うことです。だからこそ、教材研究を深めなければ、授業が成立しません。

三年前、授業への参加を、始めからあきらめている生徒がいることへの危機感から取り組んだものですが、これまでの授業観の大転換を迫られ、



思いを伝える喜びを知る

岩津中
内田香保里

五年生のA男は、自分の考えや思いを表現することが苦手な児童である。授業中の発言もなく、学習に対して消極的であるように思えた。学習シートには空欄が目立った。私は、A男が自信をもって自分の思いを表現できるように促してほしいと願った。そのためにも、自分の考えや思いをもちやすい道徳の授業で、友達との意見交流をすることが彼の力を伸ばすことになると思えた。

まず、自分の考えや思いを表現することが苦手な彼に対して、黒板に書かれた友達の意見の中から、自分の考えに似ているものを教えてほしいと伝えた。A男は「それならできそう」と言ったのだが、多くの児童が発言する中、黙ったままだった。机間指導で、「どう思うかな」「心に残ったところを指さして」と声を掛け続けたが、A男は頭を抱え、「分からない」と言っただけで口をつぐんだ。二学期、少人数で話し合う時間を

多く設けた。三、四人のグループで意見交流を行い、発言に対する抵抗を減らしたいと考えた。また、グループでの意見交流の後、友達の意見のよさを紹介する場を設けた。自分の考えでなくても発表できることから、学級全体の発言が増えたが、A男は友達の意見を聞く姿がほとんどなかった。時折、友達の問いかけに、小さな声で応じる様子はあるが、彼自身の思いを発信する姿は見られなかった。ある日、道徳の授業で、「きまりの尊重」を主題として話し合ったときである。A男は、グループの中心で話し合いを進めるB子から意見を求められると、小さな声で何かをつぶやいた。それを聞いたB子は、「いいね」と声を出して褒めた。A男は少し恥ずかしそうにしながらもうれしそうな様子だった。その意見を全体場で発表することはできなかったが、きまりについて真剣に考えるA男の姿があった。

私は、A男の意見を引き出すチャンスだと思ひ、授業後の休み時間に声を掛けた。「一生懸命考えたね。A男の意見は、どの友達の意見に似ているかな。」A男は、少し考える様子を見せたが、困ったような表情を浮かべた。もしかしたら、A男の考えは、黒板に書いてあるどの友達の意見とも違うのかなと思ひ、「私は、A男が一生懸命考えたことを知りたい。」と伝えた。

すると、A男は、空欄のまま提出しようとした学習シートを再び手に

取り、自席に戻った。A男が提出したワークシートには、「きまりを守らない人に、きまりを守っている人の気持ちや伝わるようにすること」と書かれていた。そこには何度も文字を消した跡が残っていた。

「すごいよ。A男の意見は、きつと誰も考えつかなかったよ。黒板に書いてもいいかな。」

A男は、はつと顔を上げると、目を輝かせて大きく頷いた。学級の友達が黒板に寄ってきて、A男の意見に「なるほど」とつぶやく姿を見ると、安心した面持ちで席に着いた。

B子からの称賛の一言をきっかけに、多くの友達に認められたことがA男の自信につながった。

その後のA男は、一時間のうちに何度も挙手をし、指名されないと残念そうな表情を見せるようになった。発言の機会を得ると、目を輝かせて立ち上がり、友達にまっすぐ視線を向けて、懸命に話す。自分の思いを伝えられずにうつぶむいていた姿は、もうない。



当初は大きな抵抗を感じました。しかし、勉強が苦手な生徒も得意な生徒も、全生徒が主体的に学習活動に取り組む様子に、私は、『学び合い』の授業の魅力に惹きつけられるようになりました。

『学び合い』は、よく山登りに例えられます。山頂への登山ルートがいくつもあるように、目標を達成するためのアプローチもいろいろあります。従来の一斉学習では全生徒が教師の示すルートを歩くことになり、それに合わない生徒はリタイアしてしまいます。目標を達成するために、どのルートを行くか考え、その方法を自分で選んで学習に取り組む。個々の生徒にとって、まさに「主体的な学び」が可能になります。

また、『学び合い』の授業では、全員がゴールすることを目指しますから、必然的に「対話的な学び」が生まれます。分からない生徒は教えてもらうことで、分かっている生徒や分かったつもりな生徒も、教えることで自らの学びを深めていきます。『学び合い』の授業づくりは、現在本校にとって、「主体的・対話的で深い学び」の具現化を図る重要な教育活動ととらえています。新学習指導要領の求めるところをいかに実現していくか。教員間の対話を深めながら、今後も主体性をもって授業改善に取り組んでいこうと考えています。



平成31年度 岡崎の教育

▲ タブレットを介して対話が広がる（城北中）

岡崎の教師の言葉と背中

令和の幕開けと同時に、教育も新たな時代を迎える。これまで諸先輩方が長きにわたり築かれた岡崎の教育の伝統に、新たな伝統を加えるべく、平成三十一年度がスタートした。

「近くに来て自分を取り巻く子たちの、その輪の外にいる子に目を向けてやれ」（毛涯章平）

時代が変わっても、すべての子供を大切にし、すべての子供に光を当てる岡崎の教育は変わることはない。しかるに、そこに生まれる、教師の言動の責任は大変重いものである。教育の担い手である教師が、子供たちを導き、支えるための唯一で最大のもの、「言葉と背中」である。どんな言葉を使うと子供は安心するのか、教師の言葉で子供を傷つけていないか、新しいことに敢然と立ち向かう勇氣ある姿を子供たちに示しているか、子供たちのよきモデルとなっているか等、「言葉と背中」で生き方を示しているか、今一度見直さなければならぬ。

一方で、「教職員の働き方」の見直しを強く迫られ、教職員一人一人の

意識改革が求められている。「働き方改革」の名のもと、教育がスリム化され、学校は大きく変わりつつある。各学校では、「量」の教育から「質」の教育へと、具体的な対応を求められる時が来た。

教育は、「夢見るものであり、希望に満ちたものであり、明日に期待するもの」である。今、学校教育は新しい学習指導要領の完全実施に向けて具体的に動き出している。その中で、主体的・対話的で深い学びに向けた、具体的な授業の姿が見えてくるはずである。私たち岡崎の教師集団は、新たな伝統の構築に向けて、常に確かな「言葉の力」と、魅力ある「教師の背中」で、子供たちを導き、育てていきたいものである。

岡崎の教育の視点

教育の目的は人格の完成にある。そして、学校教育に求められているものは、子供たちが人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生き抜くための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることである。その原点には、教師の「子供の



▲ 日本語で伝えたい、話したい (竜美丘小)



▲ 交流から気付きが生まれる (六ツ美中)

幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」がなければならぬ。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視し、物事の本質に迫る学習活動を通して、学ぶことの価値を実感させることが重要である。同時に個に応じた指導を充実する中で、公共の精神を尊び、自己有用感を育み、自身の価値にも気付かせることが大切である。

そのために、学校や地域の実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成し、子供が自他を敬愛し、喜んで通うことのできる、安全で魅力ある学校づくりを目指す。「教育は人なり」の至言のごとく、

岡崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築き、家庭と地域と学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。

この中で、特に次の三点を指導の重点とする。

- 学ぶ楽しさを実感し、真理を求め、学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進

○ 命の尊さやふるまひの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」

を育む教育の推進

○ 体を動かすことの楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

岡崎の教育の挑戦

時代は「超スマート社会」に突入する。AIやICT機器の発達で、生活はますます便利になり、教育分野にもAIが導入されてくるかもしれない。しかし、こうした時代だからこそ、人間教師にしかできない実体験や、生きて働く知識、物事の捉え方や考え方など、積極的に教育に取り込み、人との関わりの中で、子供たちを鍛えていくことが大切である。私たち岡崎の教師は、子供たちの成長を願い、果敢に挑戦していく。今こそ教育の正念場である。人格の完成を目指す教育においては、人間である教師こそが、子供を育てる唯一の伝道者となる。岡崎の教師は、教育の大切さやその力を自覚するとともに、今改めて、本質を見極め、失敗は許されないと覚悟をもって、教育活動にあたっていく。

重点努力事項

今、私たちが取り組むべき事柄として、以下の四つを挙げる。

① 子供理解に努め、子供に寄り添う「心」ある教育活動の推進

- ・ 日本語初期指導教室の開設による、外国人児童生徒教育の充実
- ・ ハイパーQ Uの活用

② 新学習指導要領に基づいた教育課程・授業研究の推進

- ・ 岡崎市英語教育の充実
- ・ プログラミング学習の推進
- ・ 道徳教育の充実

③ 学校ICT化の推進

- ・ 小中学校でのrpaの活用
- ・ 中学校における教室内無線環境の常設化と運用
- ・ 市内学校間グループウェア「OKサイン」の活用

④ 健康でやりがいのある教職員の働き方改革の実現

- ・ キッズデバイスの設定と活用
- ・ 学校閉庁日の設定と活用
- ・ 校務支援システムの活用

・ ICT機器を活用した、勤務状況の記録によるタイムマネジメント



●岡崎市教育委員会人事

平成三十一年三月三十一日をもって任期満了となった安藤直哉教育長を再任する人事議案が市議会で可決され、内田市長より任命された。任期は平成三十一年四月一日から三年である。

平成三十一年四月一日より、岡田京子氏が教育長職務代理者となった。他の委員は、福應謙一氏、上原三十三氏、小出義信氏の三名である。

また、学校指導課は、指導管理係、指導研修係、教育支援係、学事保健係の四体制である。なお、総務課に学校情報係、社会教育課に視聴覚ライブラリーがある。

●教育関係機関だより



◆教育相談センター

教育相談部門と通所・支援部門がある。教育相談部門には「そよかぜ相談室」がある。通所・支援部門には、不登校児童生徒適応指導教室「ハートピア竜美」等がある。

○そよかぜ相談室

主な相談内容は、いじめ、不登校、就学、発達等の問題である。相談したい場合は、電話予約が必要。その後、来所し臨床心理士や相談員と相談する。また、発達障がい専門家（大学教授等）が巡回相談をしている。

○ハートピア竜美

☎七一一三二〇七

○ハートピア上地

不登校やその傾向がある児童生徒が、学校への復帰を目指して通所し、指導員や臨床心理士による支援を受ける。通所することができない子供には、学校からの要請に応じて、登校支援員が家庭訪問をするなどして、登校支援や相談等を行っている。

○スクールソーシャルワーカー

児童生徒が置かれている環境や課題を踏まえ、関係機関との連携・調節や支援を行う。福祉や教育に精通した社会福祉士や教員OBが対応する。

◆岡崎市総合学習センター

○教育研究所

教育図書室
学習指導案の閲覧、図書資料の貸出し、学芸会等のDVD資料の視聴ができる。

○教育アドバイザー

教育に関する様々なことについての相談ができる。

・学校運営アドバイザー

学校運営について相談できる。

◆総合学習センターの休館について

改修工事のため、利用できない期間がある。

○大ホール、体育室

【休館期間】

令和元年九月一日（日）

令和三年三月三十一日（水）

○小ホール【休館期間】

令和二年七月一日（水）

令和三年三月三十一日（水）

※総合学習センター二・三階の教育研究所も、小ホールと同じ期間休館となる。

令和三年四月一日（木）からは、大ホールが多目的ホールとなり、ホールとしての利用だけでなく、パーティーションで仕切ると講義や会議にも利用できるようになる。

小ホールは、軽量天井になる。教育研究所には、簡単な実験等ができる洗い場付きの研修室や、PC利用可能な研修室が誕生する。研修内容、研修人数に合わせて御利用いただきたい。

休館スケジュール

施設名称	年	2019												2020												2021		
		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ホール棟																												
体育館棟																												
研修棟1F【ハートピア】																												
研修棟2F【研修室・小ホール】																												
エントランスホール																												

表彰

◆第13回東海中学校選抜卓球大会

○女子 二位 新香山中学校

◆第31回中部日本個人・重奏コンテスト愛知県大会

○金管八重奏

金賞(本大会に進出) 北中学校

○打楽器六重奏

金賞(本大会に進出) 北中学校

○管弦打七重奏

金賞(本大会に進出) 六ツ美中学校

○サクソフォン三重奏

銀賞 美川中学校

○トランペット独奏

銀賞 美川中 林咲来良

○クラリネット四重奏

金賞 竜海中 竜海中学校

○オーボエ独奏

金賞 竜海中 坂口文菜

○ユーフォニアム独奏

銀賞 竜海中 大村明友美

◆第30回読書感想画愛知県コンクール

優秀賞 連尺小 永園竜樹

優秀賞 竜南中 田原万由子

◆平成30年度水質パトロール隊事業

優秀賞 矢作北中 科学部

◆第62回全国学芸サイエンスコンクール

○読書感想文部門

入選 東海中 吉田祐菜

努力賞 大門小 石川詩菜

努力賞 東海中 佐藤大航

○作文/小論文部門

入選 美川中 平野 響

学校奨励賞 大門小学校

学校奨励賞 東海中学校

◆いじめ防止標語コンテスト

優秀賞 竜海中 井上雄貴

●期待の新任教員

平成三十一年度岡崎市小中学校新規採用教員は一二名(養護・栄養教諭を含む)である。なお、新任教員の配置は次のとおりである。

◆新規採用教諭

梅園小学校 石田瑠理子

山田 卓

榊原 真紀

白井 遥

大久保日向子

近藤 貴施

堀江 佳生

鈴木絵梨奈

落合 湧也

戸田 優花

今井 優樹

杉浦 健太

出 真菜香

野村 祥太

須藤 静香

河上 静夏

佐藤 りほ

豊田 操平

古崎 裕子 徹

三島小学校

竜美丘小学校

片岡 里香

林 みさと

加藤 真帆

永田 寛人

井上 泰葉

柴垣 理央

吉田 清乃

山北 早彩

田中 夏紀

伊奈 亨

愛宕小学校

福岡小学校

竜谷小学校

藤川小学校

山中小学校

本宿小学校

生平小学校

秦梨小学校

常磐南小学校

常磐小学校

恵田小学校

細川小学校

岩津小学校

大樹寺小学校

川崎 円香

飯田ひかり

坂本 惟

上嶋 千曉

杉山 和泉

板矢 暁

斎藤 真彦

水野伶衣子

青木 彩香

谷口 理貴

齋藤 優香

森下未由記

飯田ひかり

坂本 惟

上嶋 千曉

杉山 和泉

板矢 暁

斎藤 真彦

水野伶衣子

青木 彩香

谷口 理貴

齋藤 優香

森下未由記

駒月 亮

潮田真佑季

石川 真理

加藤 浩

鈴木 夏美

丹羽 桃香

山中 智雅

細井 春希

松本紗耶香

石原 朋奈

阿部かおり

村井 捺美

鈴木沙也加

猪瀬 萌

渡邊 実咲

安原 宏紀

磯貝 駿斗

寺脇ゆうろ

永井 政貴

春日井菜里

江口 京弥

中野 瑞穂

小林 彩華

後藤 麻由

矢作東小学校

矢作北小学校

矢作西小学校

矢作南小学校

六ツ美中部小学校

六ツ美北部小学校

六ツ美南小学校

六ツ美中部小学校

六ツ美北部小学校

蜂須賀文隆

橙 里奈

東浦 廉

福岡中学校

岩津中学校

矢作中学校

六ツ美中学校

長谷川 栞

矢作北中学校

沼野 理人

矢野 貴恵

鈴木 優太

井上 朋華

岩瀬 美瑚

望月 昌生

喜多村聖人

北中学校

渡會 大貴

西嶋 孝弘

佐藤 真希

西山 真未

六ツ美北中学校

井田小学校

柴田 優花

形埜小学校

向井 麻由

常磐南小学校

近藤 来美

常磐南小学校

池田 彩佳

六ツ美西部小学校

六ツ美西部小学校

六ツ美西部小学校

六ツ美西部小学校

●期待の新任事務職員

平成三十一年度の新任事務職員は五名で、配置は次のとおりである。

竜美丘小学校 藤本 麻友

井田小学校 島田 恭輔

大門小学校 大澤 里奈

葵中学校 小島穂野花

六ツ美北中学校 岡田 妃世

・題
・タイトルバック
・各タイトル
・カ
・ト

教育長 安藤直哉
 竜海中 太田真喜
 矢作北中 成田真香
 細川小 吉田真由子

北野小を守る会・北野学区見守り隊 (平成17年)

写真提供：北野小学校

照りつける夏の日も、傘も吹き飛ばすような嵐の日も、終日校門に立ち続けてくれる人たちがいる。

平成十七年、地域の総代会と老人クラブが中心となって「北野小を守る会」を発足させ、校門前の立哨と校内巡視を開始した。平成二十年には「北野学区見守り隊」も発足し、学校内と通学途中の安全が、地域のボランティアによって見守られるようになった。

岡崎市では、このような見守り活動が、それぞれの地域の献身的なボランティアによって支えられていることが多い。登校から下校まで児童の安全を守るボランティアの方に、感謝の意を尽くしたい。



「友達でできるかな」。緊張の表情を浮かべる新入生を、上級生が優しく手を引いて歩く。祝福の拍手の中、担任を先頭に列が進む。

友達、先生との新たな出会いに子供の目は輝く。教師はその輝きを忘れてはならない。さあ、新しい一年が始まる。

ホッと 卯月



新たな一年 新たな出会い

本を読み、名文に触れることが、言葉での表現力を磨き優れた方法だと青木氏は語る。中学校の生徒手帳に掲載された「お薦めの本」百冊を読破した経験が、今の仕事に生きているそうだ。

言葉で勝負するのは教師も同じ。研鑽を積みながら進みたい。

つぶやきに耳を傾け、頑張りを称えるB子。それを見守り認める担任。A男は、自分の思いが伝わる喜びを味わい、自信をつけた。

様々に発せられる子供たちの声に耳を傾け、子供の思いをくみ取れる理解者でありたい。



*美宇は、みう。健康ジャーナル社

平野真理子 ¥1,400

心に残った一文

表現方法が異なるだけで、同じように何かを感じ、思い、それを伝えようとしている。

日本一の卓球女子を育てた母親であると同時に、障がいのある娘を育てた母親であると著者は語る。

著書には、特別支援学校での教師経験を生かしつつ3人の娘を育てた著者の様子と、障がい者と健常者の間にある見えない壁について書かれている。

教室には、様々な個性の子供たちがいる。また、教師の個性も様々である。限られた子供だけが光の当たる教室ではいけない。一部の職員に頼って学校運営がされてはいけない。

どの子供も職員も光り輝くチャンスがある。良さを見出し光らせることが、私たち教師や校長の仕事のはずである。

*目の見えない人は世界をどう見ているか 伊藤 亜紗 光文社新書 ¥760

*つながりを煽られる子どもたち 土井 隆義 岩波ブックレット ¥620

*思いの学校、思いだけの学校、思いを実現する学校 妹尾 昌俊 学事出版 ¥1,800

下山小 安藤 眞樹 ※所属は執筆時のもの